



一般社団法人 富山県臨床検査技師会
令和6年度第1回理事会会議議事録

開催日時	令和6年4月11日(木) 13時30分～
開催場所	富山県医師会館
出席理事	南部 重一、澤井 真史、田近 洋介、村椿 智佳子、青木 貴子、油谷 智史、高森 亮輔、手丸 恵美、横田 綾、中島 悠樹、岩崎 浩、杉本 果林、辻田 由加利、石田 睦子、山口 功子、西村 直子、上野 剛志、新保 卓也、森岡 誠二、根山 正美、山外 優衣、 監事 成瀬 智、
欠席理事	酒井 祐子、藤本 寛之、稲垣 泰良、梅澤 路子 監事 館 佳秀
会議次第	I. 開会 II. 出欠の確認 III. 議題 IV. 報告事項 V. 今後の日程 VI. その他
	I. 開会 II. 出欠の確認 出席 <u>21</u> 名 欠席 <u>4</u> 名 III. 議題 1. 会員動向 富山県技師会新規入会申請者について 富山県技師会会員数報告 577名(2024/04/11 14時時点) 新規富臨技入会申請 1名 読み上げ紹介をもって入会承認を得た。 2. 会費の減免について 能登半島地震における建物被害罹災証明書による日臨技会費減免申請者 ⑤会員番号 739108 藤多 倫啓さん 令和6年能登半島地震による住家準半壊 (4/27日臨技理事会承認予定) 富臨技 会費規定 第4条 会長は、会員に特別な理由があると認める場合、会費を減免することができる。 IV. 報告事項 1. 令和6年度富臨技定時総会 総会日時 2024年5月25日(土) 13:00～ 開催場所 富山市医師会健康管理センター 4階ホール 総会議案検討 第1号議案 令和5年度事業報告:澤井副会長

- 第2号議案 令和5年度決算報告：青木会計部長
- 第3号議案 令和6年度事業計画（案）：澤井副会長
- 第4号議案 令和6年度予算（案）：青木会計部長
- 第5号議案 定款の一部改訂（第23条第1項 理事定数）：田近副会長
- 第6号議案 令和6・7年度理事及び監事選任

【総会次第】 一、開会の辞

一、議長選出：谷内 隆浩（タニウチ タカヒロ）富山県済生会富山病院

一、議長挨拶

一、会長の挨拶

一、総会役員選出

(1) 資格審査委員・議事運営委員任命

(2) 書記任命

(3) 議事録署名人選任

一、資格審査委員長報告

一、議事運営委員長報告

一、議案審議

(1) 第1号議案 令和5年度事業報告：澤井副会長

(2) 第2号議案 令和5年度決算報告：青木会計部長

監査報告：成瀬監事

(3) 第3号議案 令和6年度事業計画（案）：澤井副会長

(4) 第4号議案 令和6年度予算（案）：青木会計部長

(5) 第5号議案 定款の一部改定（案）：田近副会長

(6) 第5号議案 理事の変更（案）：下司 役員推薦委員長

理 事（25名）

富山1	澤井 真史	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
富山1	岡崎 千尋	富山県立中央病院
富山1	根建 伊希子	富山県立中央病院
富山1	中島 悠樹	済生会富山病院
富山2	田近 洋介	富山大学附属病院
富山2	杉江 和茂	富山大学附属病院
富山2	長井 静香	富山赤十字病院
富山3	村椿 智佳子	富山市民病院
富山3	浅井 泰代	富山市民病院
富山3	稲垣 泰良	富山市医師会健康管理センター
富山3	西島 玲衣	富山市医師会健康管理センター
富山3	吉田 淳史	富山県健康増進センター
新川	辻田 由加利	厚生連滑川病院
新川	森 美緒	富山ろうさい病院
新川	高野 沙矢香	あさひ総合病院
高岡	南部 重一	厚生連高岡病院
高岡	上野 剛志	厚生連高岡病院
高岡	南 昌弘	高岡市民病院
高岡	山崎 かな子	済生会高岡病院
高岡	竹林 衣枝	金沢医科大学水見市民病院
高岡	林 浩子	JCHO 高岡ふしき病院
高岡	荒木 陽一郎	射水市民病院

高岡 久保 昌美 高岡市医師会臨床検査センター
砺波 尾崎 智恵 市立砺波総合病院
砺波 加藤 ともこ 公立南砺中央病院

監事(2名)

金山 昌子 黒部市民病院、舘 佳秀 税理士法人リタパートナーズ

一、総会役員及び書記解任

一、閉会の挨拶

一、閉会の辞

2. タスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会について 別紙資料参照

【経緯】各都道府県技師会の協力の下で講習会を開催してきたが、効率的に講習会を開催するために開催要件の変更を行った。

1) 講習会開催にあたり、催行人数 50 名の定数について

申し込み締め切り日に入金済み申込者が 50 名

→申し込み締め切り日の時点で申込者が 50 名に達していれば開催可能とする。

※申込締め切り日以降にキャンセルが出て 50 名を下回った場合も、開催可能とする。

2) 開催規模について受講者数を増やし大型会場で大規模講習会を可能とする。

※基本的には講師手元・様子を撮影し、ライブ映像を会場の大型スクリーンに映し、受講者が講師の手技を確認することができることを想定している。

例) 定員を 300 名とした場合、実務責任者 1 名、実務委員 60 名ごとに 6 名

計 30 名、講師各 1 名(静脈路確保/造影剤注入・皮下グルコース検査/吸引痰・肛門機能/内視鏡検体採取)

富山県は岩崎実務責任者が継続

3) 実務責任者の要件

2024 年 4 月以降は、実務委員を 3 回以上経験した者で、各都道府県技師会長が指名するもの(任期は定めない)

4) 実務委員の要件

指定講習会修了者

5) 講師の要件

現在、医師、看護師に依頼している講師については、概ね 20 症例程度の現場経験がある臨床検査技師を講師として認めることとする。

但し、特に肛門機能検査は現場での普及もあまり進んでおらず、症例も少ないため、講師としては認めず、大腸肛門機能障害研究会の医師に講師を依頼する。

3. 令和 6 年度事業における都道府県技師会への協力をお願い 別紙資料参照

1. 日臨技生涯教育研修制度(都道府県技師会開催生涯教育推進研修会への助成)

1 研修会、定額 3 万円及び日臨技会員である参加者 1 人あたり 500 円、

最大 40 名(上限 5 万円)まで、1 都道府県あたり 20 研修会(上限 100 万円)。

対象研修会:2 令和 6 年 4 月～令和 7 年 2 月までの開催

2. 都道府県技師会主催「都道府県リーダー育成研修会」の開催支援

日臨技主催の「地域ニューリーダー育成講習会」受講者が都道府県に事業展開。

人材育成事業開催経費:都道府県技師会負担、日臨技役員派遣経費は日臨技負担。
(日臨技生涯教育研修制度の対象となる。)

3. 全国「検査と健康展」の開催

広く国民に臨床検査に関する正しい知識の普及、啓発に向けた取組みを目的に「臨床検査月間」である11月を目途に開催。助成金は、一律50万円。
(中央会場は100万円)。

「検査と健康展」では、臨床検査の業務内容を広く理解していただくための企画内容で開催。「臨床検査技師の仕事」や「生活習慣病の予防と健診の重要性」「認知症予防」など臨床検査や臨床検査技師に関する正しい知識の普及、啓発を目的に企画運営。

4. 「地域ニューリーダー育成研修会」の開催

平成26年度から開催した「地域ニューリーダー育成研修会」第1期が完結。令和4年度より第2期(5年計画)開始。各都道府県より推薦者対象。新たな人材と将来の日臨技・地臨技を担うことができるリーダーの育成を行う。令和6年度(第2期3年目)の経費補助:参加者宿泊費(2日分)は都道府県。交通費は日臨技負担。

5. 総会議決権行使促進支援

令和6年度定時総会における、都道府県技師会からの議決権行使の促進支援。令和6年度定時総会において、定款の改定の提案を予定。

66.7%以上の場合:100円(1名につき)、50%以上~66.7%未満の場合:50円(1名につき)、50%未満の場合:0円

6. 日臨技支部学会内「学生フォーラム」

令和6年度支部学会開催時に、養成校を中心に学生主導のフォーラムを日臨技の主催で開催。支部学会への学生参加を促進し、会員(既卒者)との意見交換、卒業後の日臨技への入会促進、将来のリーダーの育成を図り、組織力強化に取り組む。費用の上限は20万円。

7. 日臨技支部学会内「中高生進路支援ガイダンス」

優秀な学生確保により、優秀な臨床検査技師の輩出に繋がる事業として、臨床検査技師養成校の協力を得て、「中高生進路支援ガイダンス」を支部学会内において実施:助成金5万円。

8. 災害対策強化

災害や新興感染症などに対し、日臨技と都道府県技師会の連携を深めた災害発生時の対応、対策の体制強化を進める。コンテンツの製作、受講料支援などを計画。

「災害時支援人材育成VOD研修」、「避難所運営ゲーム(HUG)研修」、「JIMTEFベータコース受講」等を予定。

9. 「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」の開催

都道府県技師会開催の実技講習会修了者は令和6年2月末現在、22,662名。

10. 都道府県技師会との連絡会議の開催

昨年度と同様、都道府県技師会と日臨技の連携をより強化していくために、令和6年度第1回全国臨床(衛生)検査技師会会長会議を4月13日に開催。

4. 臨床検査技師認知度向上のためのポスター募集について 別紙資料参照

最優秀賞 10万円、優秀賞 2作品 3万円

認知度向上：医師・薬剤師・救命救急士、放射線技師、理学療法士、臨床検査技師
検査技師の認知度は現状 20%。

5. 各部局報告

1) 事務局

議決権行使 100円/人

令和6年度富臨技定時総会役割担当 任務一覧及び担当者(案)

総括 南部 重一(富臨技会長：厚生連高岡病院)

総合司会者 村椿 智佳子(富臨技事務局長：富山市民病院)

会場責任者 油谷 智史(学術部長：高岡市民病院)

写真撮影 上野 剛志(富臨技広報副部長：厚生連高岡病院)

森岡 誠二(富臨技広報部員：富山市民病院)

会場設営(マイク等) 理事全員(岩崎 浩)

受付担当・・・出席者、書面表決者を資格審査委員に報告

辻田 由加利(公益部長：厚生連滑川病院)

横田 綾(精度管理副部長：富山大学附属病院)

記録担当・・・質疑応答等の記録

西村 直子(広報部長：JCHO 高岡ふしき病院)

山口 功子(公益副部長：富山県健康増進センター)

議長選任 谷内 隆浩(富山県済生会富山病院)

執行部報告者 澤井副会長 … 第1号議案、第3号議案

田近副会長 … 第5号議案

下司役員推薦委員長 … 第6号議案

青木会計部長 … 第2号議案、第4号議案

会計監査報告 監事 成瀬 智

資格審査委員 委員長(理事) 富山1区：中島 悠樹(済生会富山病院)

副委員長(会員) 富山2区：杉江 和茂(富山大学附属病院)

議事運営委員 委員長(理事) 砺波地区：新保 卓也(公立南砺中央病院)

副委員長(会員) 砺波地区：尾崎 智恵(市立砺波総合病院)

総会書記 (理事) 富山3区：稲垣 泰良(富山市医師会健康管理センタ

一)

(会員) 高岡地区：南 昌宏(会員：高岡市民病院)

議事録著名人 (理事) 富山2区：田近 洋介(富山大学附属病院)

(理事) 高岡地区：油谷 智史(学術部長：高岡市民病院)

12時00分～12時50分 会場設営(マイク、机、イス)

12時50分～13時00分 富臨技永年職務精励者表彰 14名

代表者： 谷内 隆浩(富山県済生会富山病院)

富山県に9万円の助成金申請を提出する予定。
 学術部門長会議：次期班長が決定次第日程決める
 支部学術部門委員候補者届出（都道府県技師会推薦）部門班長中部圏支部へ提出
 条件：日臨技生涯教育研修制度修了者、学会発表経験あり、学術活動経験あり。
 超音波分野長：青木→富山大学
 中部圏支部医学検査学会：支部シンポジウムシンポジスト推薦 5/31〆切
 日赤：肝炎コーディネーター？

5) 広報部

記念誌納品本日持ち帰り
 SNS 運用規定について承認されたので、HP にアップする。

6) 公益事業部

なし

V. 今後の日程

4/11（木） 富臨技会計監査
 富山県臨床検査精度管理会計監査
 4/24（水） 令和6年度第1回富山県臨床検査精度管理協議会
 5/9（木） 第2回理事会
 5/25（土） 令和6年度富臨技定時総会

VI. その他

- ・連盟活動報告
 中部圏支部6月で交代→石川県田中氏
 岡山県：救急救命士のエコー検査特例実施計画
 理学療法士：関節部位のエコー検査実施
 臨床工学技師も要望あり。
- ・ニューリーダー候補者
 富山大学：杉江
- ・日臨技理事
 南部会長継続
- ・春の叙勲推薦
 2024年度5月 厚生連高岡 副会長経験者：柴田正信氏叙勲を受ける予定。
- ・5月25日（土）
 災害研修会について講師の青木さん、大西さんあてに依頼状を出す。

理事会議長（会長）	南部 重一
議事録著名人（副会長）	澤井 真史
書記（事務局長）	村椿 智佳子